

「教育現場における外部人材の活用について」(『新教育課程研究』第8号、武蔵野教育研究会、令和元年5月)、1-19頁。

「プロローグ」「1 社会教育としての外部人材」「2 キャリア教育としての外部人材」「3 進路指導の外部人材」「4 特別活動としての外部人材」「5 ALTの活用」「6 小学校でのALTとの連携」「エピローグ」の順で論じた。教員を労働者としてみた場合には、長時間労働の原因のひとつに教員が生徒の人格形成の寄与するために、教科指導をはじめ、様々な指導が大きな負担になっている。新学習指導要領にも外部人材の活用についてはうたわれているため、法令等の関係を確認しながら、その可能性と問題について提言した。(A5)